

石垣市観光危機管理計画の 策定にあたっての前提条件(案)

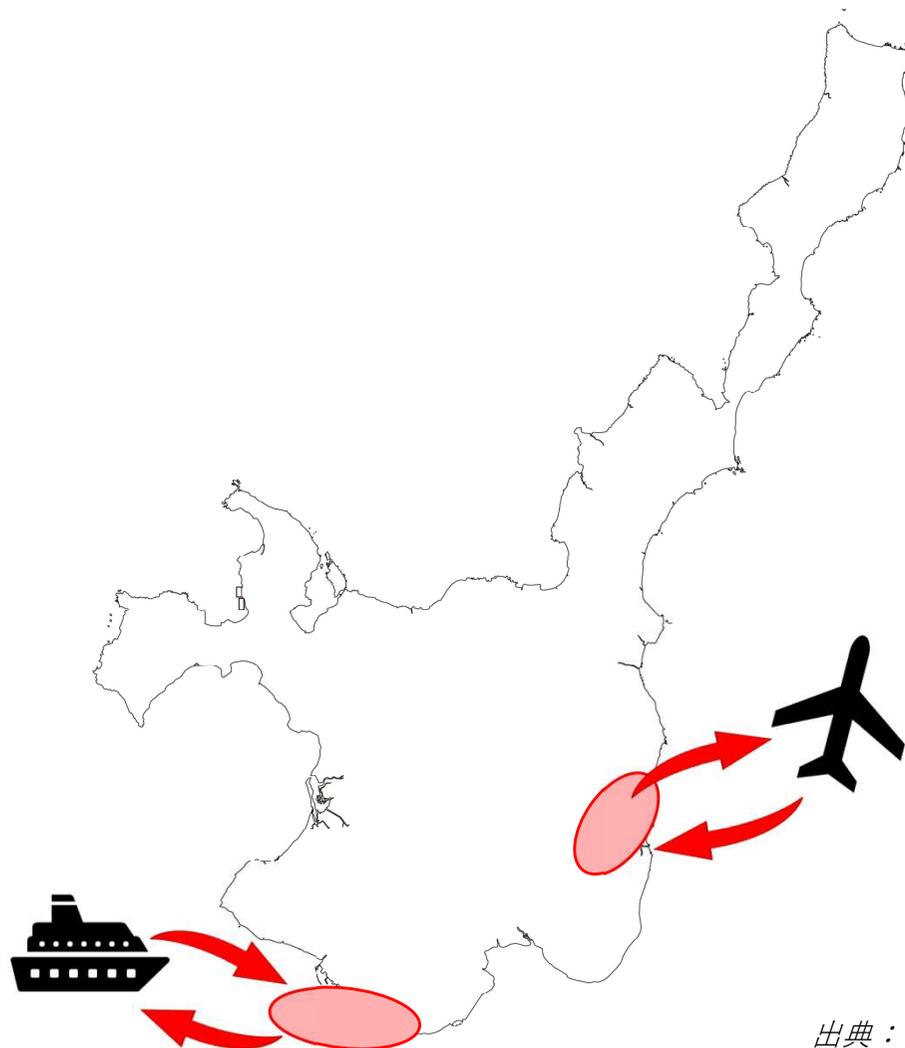
1. 地域特性

石垣市の立地特性

市外からの観光客は、石垣空港(国内線・国際線)または石垣港(離島ターミナル、新港ターミナル)から入域しており、アクセスポイントが限定されている。

石垣港離島ターミナル
西表島上原港
西表島大原港
竹富島
波照間島
鳩間島
小浜島
黒島

石垣港寄港クルーズ船 主な経由地
那覇
横浜
鹿児島
深圳
基隆
厦門
上海
南沙

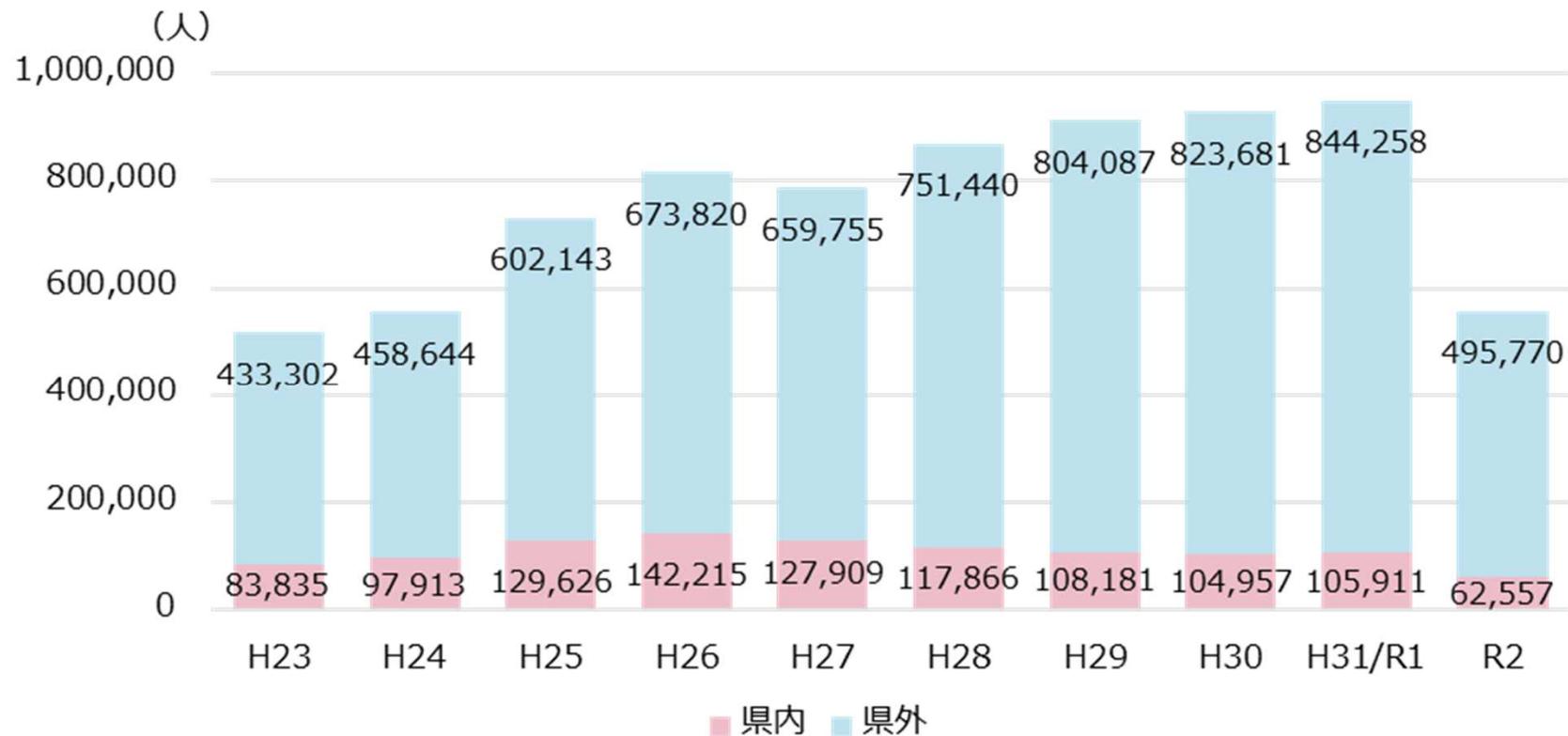


南ぬ島 石垣空港 発着路線	
国内線	東京 (羽田)
	東京 (成田)
	名古屋 (中部)
	大阪 (関西)
	福岡
	那覇
	宮古
国際線	与那国
	香港
	台北 (桃園)

石垣市を玄関・拠点とする八重山圏域の観光実態

石垣市をはじめ八重山圏域へは県内外から多くの観光客が訪れ、自然災害等の観光危機時には、安否や所在の確認、滞在・帰宅支援等での対応が大きくなることが想定され、対応体制や日頃からの啓発等が重要である。

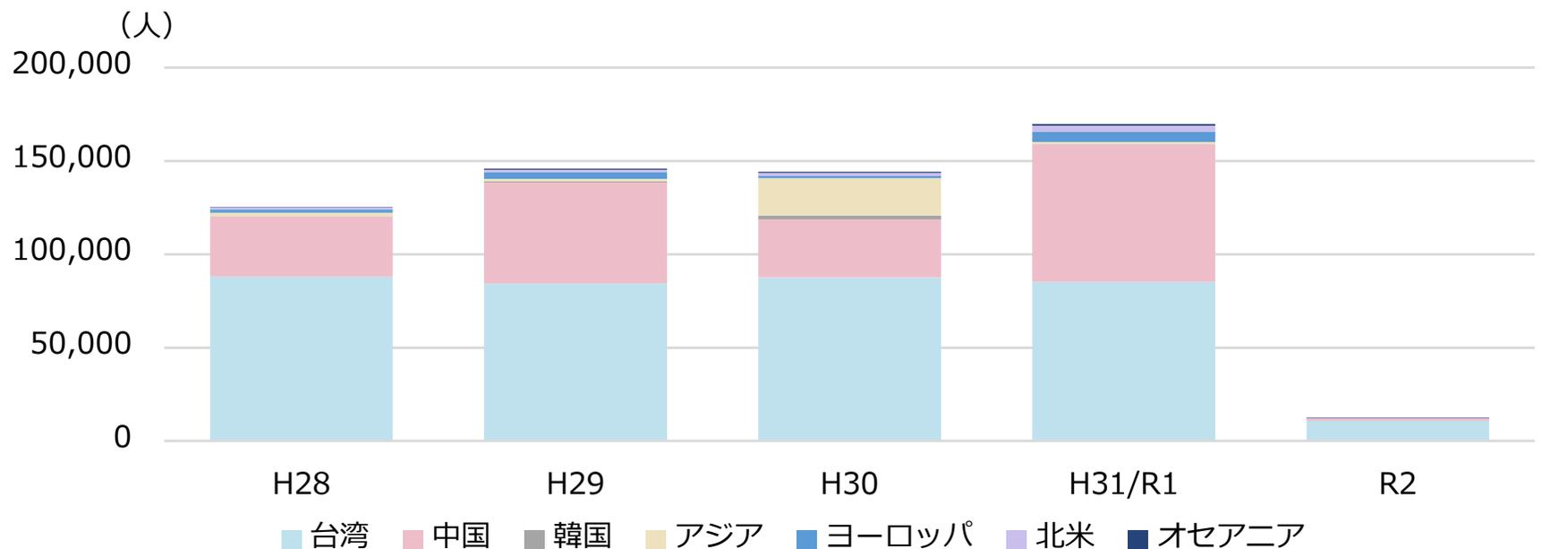
県内・外別入域観光客数の推移（観光旅行のみ）※帰省・業務除外



石垣市を玄関・拠点とする八重山圏域の観光実態

石垣市をはじめ八重山圏域へは海外からも多くの観光客が訪れ、自然災害等の観光危機時には、安否や所在の確認、滞在・帰宅支援等での対応が大きくなることが想定され、対応体制や日頃からの啓発等が重要である。

海外主要地域別入域客の推移



※アジア：台湾・中国・韓国を含まない

石垣市を玄関・拠点とする八重山圏域の観光実態

石垣市をはじめ八重山圏域を訪れる観光客は、各島々へ来訪者や宿泊者が分散しており、自然災害等の観光危機時には、安否や所在の確認、滞在・帰宅支援等での対応が大きくなることが想定され、対応体制や日頃からの啓発等が重要である。

八重山圏域における来訪および宿泊

(%)		H31/R1年度	第1回調査 (5月)	第2回調査 (7月)	第3回調査 (10月)	第4回調査 (2月)
来訪した島	石垣島	90.9	91.7	92.4	88.5	90.2
	竹富島	44.6	47.2	40.8	49.6	40.9
	黒島	3.1	3.4	3.8	2.9	2.1
	小浜島	11.7	15.8	8.4	14.0	8.5
	西表島	34.8	35.5	34.0	35.6	34.0
	波照間島	7.7	6.0	8.4	7.2	9.4
	新城島	1.0	1.5	1.3	0.4	0.4
	鳩間島	1.6	1.9	2.9	0.7	0.4
	与那国島	3.4	3.8	2.5	2.9	4.7
宿泊した島	石垣島	87.9	88.1	88.5	87.0	87.8
	竹富島	3.2	2.2	3.6	4.5	2.7
	黒島	1.2	1.1	1.6	1.0	0.8
	小浜島	7.0	9.7	5.9	9.6	1.9
	西表島	10.0	6.5	9.5	12.7	12.5
	波照間島	3.3	3.6	3.2	3.4	3.0
	鳩間島	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0
	与那国島	2.6	3.6	2.4	1.7	2.7
	その他	0.3	0.0	0.4	0.7	0.0

出典：令和元年度観光統計実態調査を基に作成

石垣市を玄関・拠点とする八重山圏域の観光実態

石垣市をはじめ八重山圏域を訪れる観光客は、各島々へ来訪者や宿泊者が分散しており、自然災害等の観光危機時には、安否や所在の確認、滞在・帰宅支援等での対応が大きくなることが想定され、対応体制や日頃からの啓発等が重要である。

八重山圏域における宿泊日数

(泊)	H31/R1年度	第1回・5月 (4-6月期)	第2回・7月 (7-9月期)	第3回・10月 (10-12月期)	第4回・2月 (1-3月期)
石垣島	2.4	2.2	2.8	1.8	2.3
竹富島	1.9	1.6	2.6	1.8	1.3
黒島	2.6	1.3	2.3	4.7	1.0
小浜島	2.2	1.9	2.5	1.3	7.2
西表島	2.3	3.1	2.7	2.0	1.8
波照間島	1.5	1.2	1.4	1.8	1.6
鳩間島	2.0	2.0	—	—	—
与那国島	2.3	2.1	2.7	2.3	2.3
その他	1.0	—	1.0	1.0	—

石垣市を玄関・拠点とする八重山圏域の観光実態

石垣市をはじめ八重山圏域を訪れる観光客は、目的地も様々であり、自然災害等の観光危機時には、安否や所在の確認、滞在・帰宅支援等での対応が大きくなることが想定され、対応体制や日頃からの啓発等が重要である。

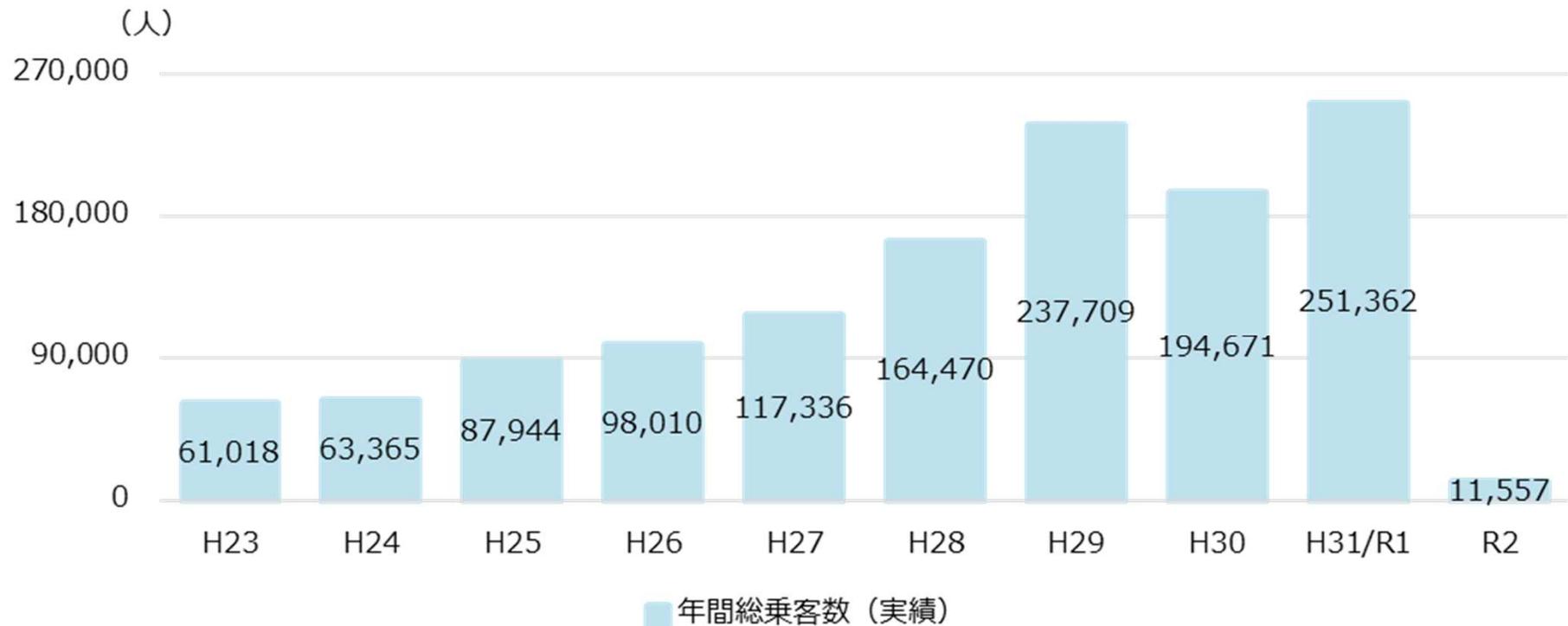
八重山圏域における立ち寄り先（石垣市内のみ抜粋）

(%)	H31/R1年度	第1回・5月 (4-6月期)	第2回・7月 (7-9月期)	第3回・10月 (10-12月期)	第4回・2月 (1-3月期)
川平湾	58.4	62.6	56.3	62.6	50.6
玉取崎展望台	33.1	32.1	34.9	30.6	34.9
石垣市公設市場	25.1	24.2	22.3	27.0	28.5
平久保崎灯台	23.7	25.7	22.7	25.2	20.9
石垣島鍾乳洞	20.9	21.9	22.3	21.2	17.0
バナナ公園	20.7	23	18.1	19.8	22.6
御神崎灯台	14.3	18.9	11.3	12.2	14.9
石垣島内その他	12.1	13.6	7.6	14.7	13.6
唐人墓	10.6	14.0	7.6	11.9	8.9
ヤエヤマヤシ群生	10.6	4.9	4.6	25.2	9.8
石垣島天文台	6.9	6.0	7.1	6.5	8.1
名蔵アンパル	5.8	7.2	3.8	5.4	7.7
宮良殿内	2.4	3.0	2.9	2.2	1.3
石垣市立八重山博物館	2.2	1.1	2.1	2.2	3.8

石垣市を玄関・拠点とする八重山圏域の観光実態

アジアと日本の結節点として、クルーズ客船(国内外)での入域客数も多く、自然災害等の観光危機時には、安否や所在の確認、滞在・帰宅支援等での対応が大きくなることが想定され、対応体制や日頃からの啓発等が重要である。

クルーズ船年間総乗客数



2. 想定すべき危機

石垣市で想定される危機

自然災害については、石垣市地域防災計画では、地震・津波、台風等の風水害が想定されている。

風水害（台風）（以下と同規模の災害を想定）

(1) 台風第5号（ベラ）

襲来年月日 昭和52年7月29日～8月1日

最大風速 53.0 m/s

最大瞬間風速 70.2 m/s

降水量 301.5mm

死傷者・行方不明者 4名

住宅全半壊 227戸

(2) 台風第13号（サンサン）

襲来年月日 平成18年9月15日、16日

最大風速 48.2m/s

最大瞬間風速 67.0m/s

降水量 181.0mm

重軽傷者 57名

住宅全半壊 157戸

(3) 台風第15号（コーニー）

襲来年月日 平成27年8月22～24日

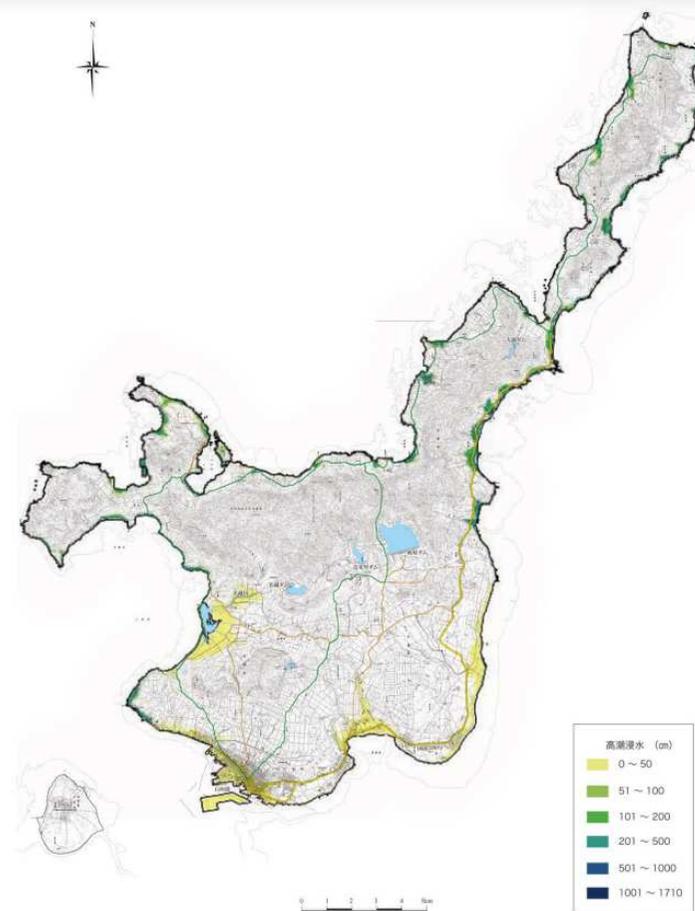
最大風速 47.9m/s

最大瞬間風速 71.0m/s

降水量 294.5mm

負傷者 5名

風水害（高潮）



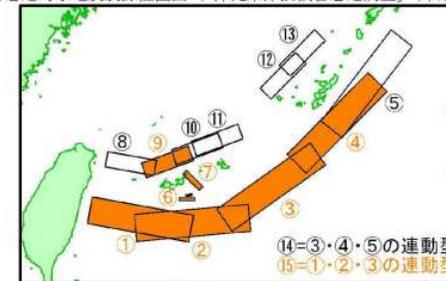
石垣市で想定される危機

地震については、石垣市内は震度6強の揺れが発生し、老朽建物の倒壊や道路・橋梁の被害、ライフラインの停止等が考えられ、市民のみならず観光客についても大きな影響が発生しうる。

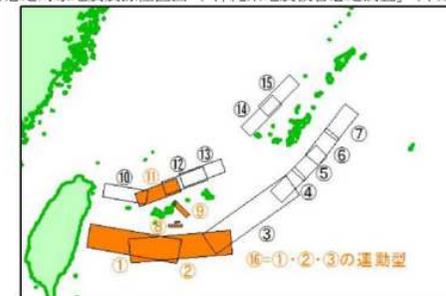
想定地震

H24地震No	H26地震No	想定地震	マグニチュード	ゆれ等の特徴（予測最大震度）	備考
①	①	八重山諸島南西沖地震	8.7	津波浸水深の最大値を示す（6弱）	平成23・24年度津波被害想定調査より
②	②	八重山諸島南方沖地震	8.8	津波浸水深の最大値を示す（6弱）	
③	③	八重山諸島南東沖地震	8.8	津波浸水深の最大値を示す（6弱）	
⑥	⑧	石垣島南方沖地震	7.8	黒島において震度が強い（6弱）	
⑦	⑨	石垣島東方沖地震	8.0	石垣島において震度が強い（6強）	
⑨	⑪	石垣島北方沖地震	8.1	西表島、多良間島において震度が強い（6強）	
⑭	—	沖縄本島南東沖地震3連動	9.0	沖縄本島及び周辺島嶼広域において震度が強い（6強）	平成25年度に新規設定
⑮	⑯	八重山諸島南方沖地震3連動	9.0	先島諸島広域において震度が強い（6強）	
—	⑫	宮古島スラブ内地震	7.8	宮古島全域、伊良部島において震度が強い（6強）	
—	⑬	石垣島スラブ内地震	7.8	石垣島市街地において震度が強い（6強）	

被害想定対象地震震源位置図（「沖縄県津波被害想定調査」（平成24年度）



被害想定対象地震震源位置図（「沖縄県地震被害想定調査」（平成25年度）



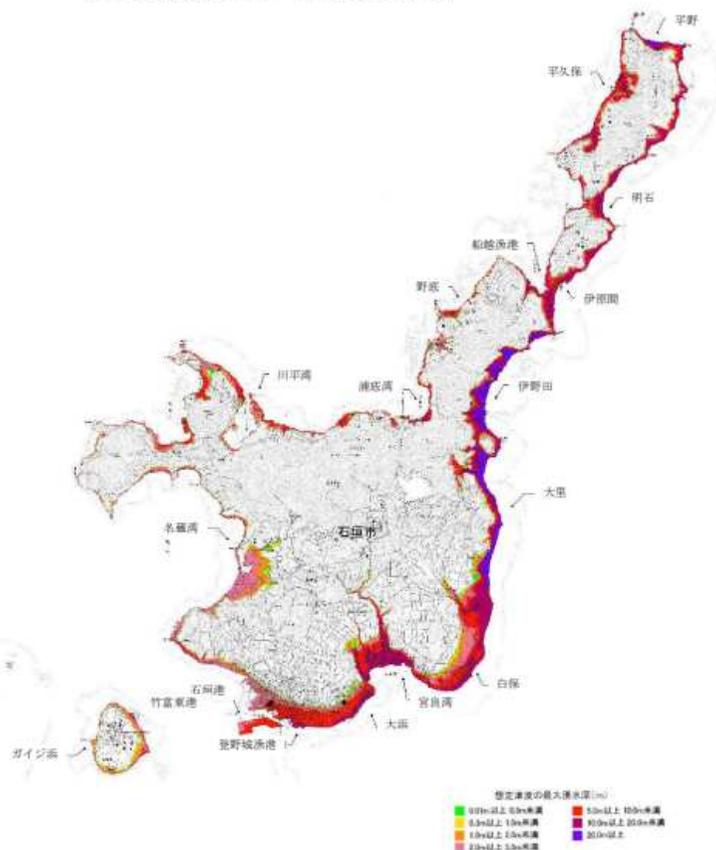
出典：石垣市地域防災計画

石垣市で想定される危機

津波については、到達時間は最短3分、最大浸水深20m以上となる地域がそれぞれ想定されており、観光客及び観光事業者の迅速な避難(誘導)の確立が必要である。

想定津波

(平成 24 年度)最大クラスの津波浸水想定図



「沖縄県津波被害想定調査」(平成 24 年度)津波浸水想定モデル一覧

No	断層名	断層長さ	断層幅	すべり量	マグニチュード(※1)
⑥	石垣島南方沖地震(※2)	40km	20km	20m	7.8
		15km	10km	90m	(※3)
⑦	石垣島東方沖地震(※2)	60km	30km	20m	8.0
⑨	石垣島北方沖地震	130km	40km	8m	8.1
⑮	3連動 八重山諸島 南方沖地震	200km	70km	20m	9.0
		175km	70km	20m	
		300km	70km	20m	

市町村名	No	代表地点	沿岸の最大水位 (m)	最大遡上高 (m)	影響開始時間 (分)	津波到達時間 (分)
石垣市	1	平野	19.6	23.1	3	3
	2	平久保	9.8	14.5	2	6
	3	船越漁港	14.8	20.3	7	13
	4	野底	9.3	10.1	3	11
	5	浦底湾	12.3	16.1	6	17
	6	川平湾	13.9	14.6	10	16
	7	名蔵湾	6.7	7.4	10	27
	8	石垣港	15.7	14.8	11	12
	9	登野城漁港	20.4	19.4	6	8
	10	大浜	22.0	29.7	4	6
	11	宮良湾	17.8	23.8	6	8
	12	白保	20.8	23.3	6	8
	13	大里	28.3	34.9	9	10
	14	伊野田	25.8	34.7	12	14
	15	伊原間	21.1	28.2	9	11
	16	明石	18.9	21.0	7	10

石垣市で想定される危機

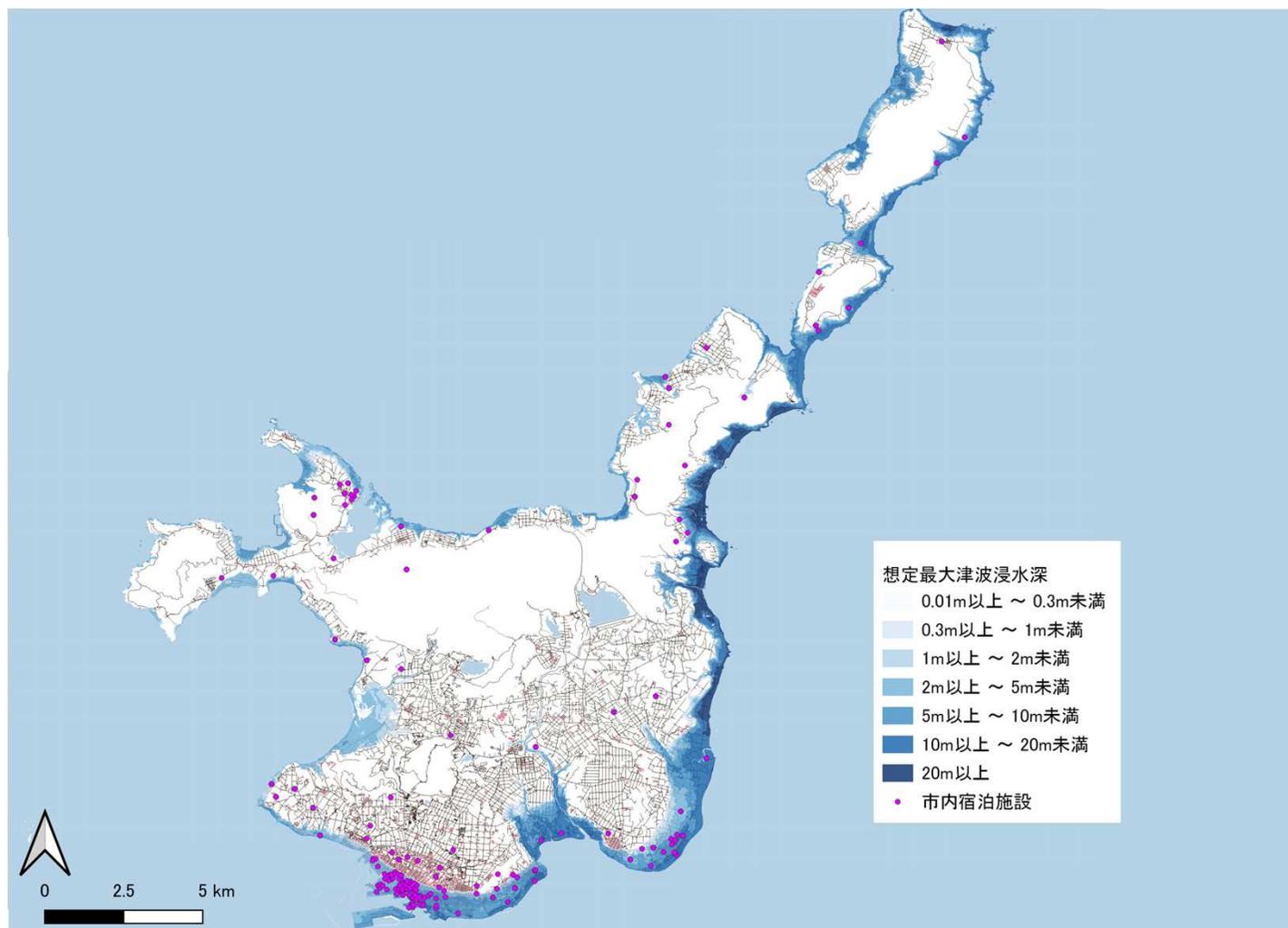
沖縄県地震被害想定調査によると、多くの建物被害、人的被害が想定されており、被害の復旧を考えると、観光の回復には相当時間を要することが見込まれる。

地震・津波（被害想定においては観光客が含まれておらず、さらなる人的被害の発生が想定されます。）

H24 地震 No	H26 地震 No	想定地震	死者 (津波) [人]	負傷者 (津波) [人]	避難者 直後 [人]	避難者 1週間 [人]	全壊 (津波) [棟]	半壊 (津波) [棟]	断水 [人]	都市 ガス 停止 [戸]	下水道 被害 [人]	停電 [軒]	通信 機能 障害 [回線]
①	①	八重山諸島南西沖地震	1 (0)	75 (0)	125	156	126 (0)	422 (0)	0	—	2,348	392	297
②	②	八重山諸島南方沖地震	1 (0)	89 (0)	143	179	142 (0)	493 (0)	0	—	2,353	474	357
③	③	八重山諸島南東沖地震	0 (0)	15 (0)	25	31	20 (0)	95 (0)	0	—	1,536	0	0
⑥	⑧	石垣島南方沖地震	1,661 (1,659)	7,465 (7,355)	7,214	1,468	3,556 (3,340)	2,606 (2,079)	11,121	—	6,074	11,086	10,419
⑦	⑨	石垣島東方沖地震	2,119 (2,115)	9,049 (8,838)	8,346	1,817	4,680 (4,201)	3,006 (2,132)	14,149	—	6,413	14,432	12,830
⑨	⑪	石垣島北方沖地震	120 (118)	1,818 (1,645)	2,394	439	457 (188)	1,804 (931)	671	—	2,661	2,576	2,105
⑭	—	沖縄本島南東沖地震 3連動	0 (0)	40 (0)	73	94	87 (0)	265 (0)	0	—	2,217	0	0
⑮	⑯	八重山諸島南方沖地震 3連動	1,938 (1,935)	9,073 (8,900)	8,441	2,081	5,750 (5,334)	2,084 (1,390)	17,817	—	6,630	16,112	14,231
—	⑫	宮古島スラブ内地震	0 (0)	13 (0)	24	30	21 (0)	89 (0)	0	—	1,535	0	0
—	⑬	石垣島スラブ内地震	15 (0)	571 (0)	811	1,025	1,026 (0)	2,294 (0)	371	—	3,030	5,097	3,864

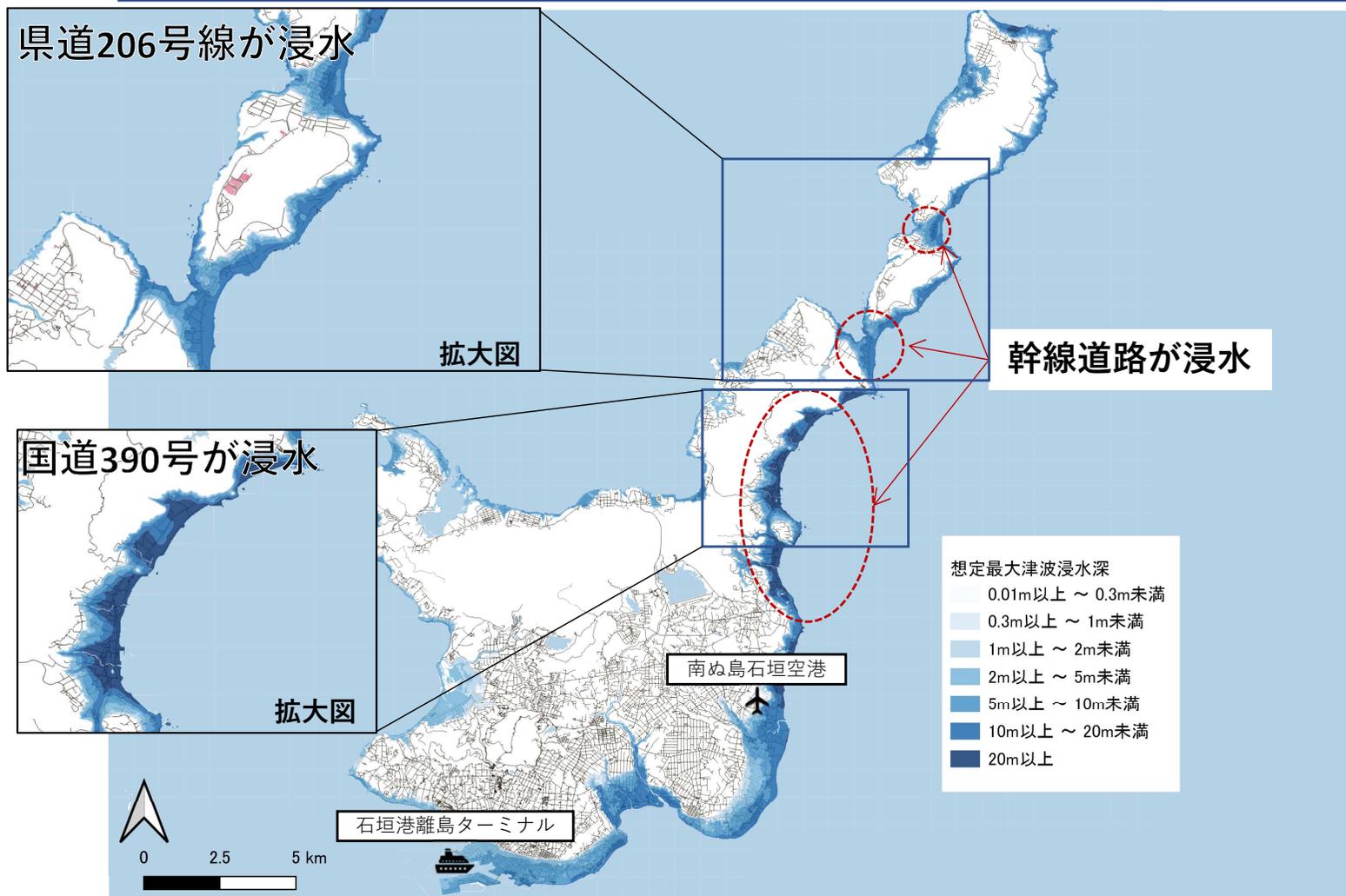
石垣市で想定される自然災害

最大クラスの津波では、多くの宿泊施設が津波浸水想定区域内に立地しており、観光客の避難誘導や安否確認の方法など発災時の対応を事前に検討しておく必要がある。



石垣市で想定される自然災害

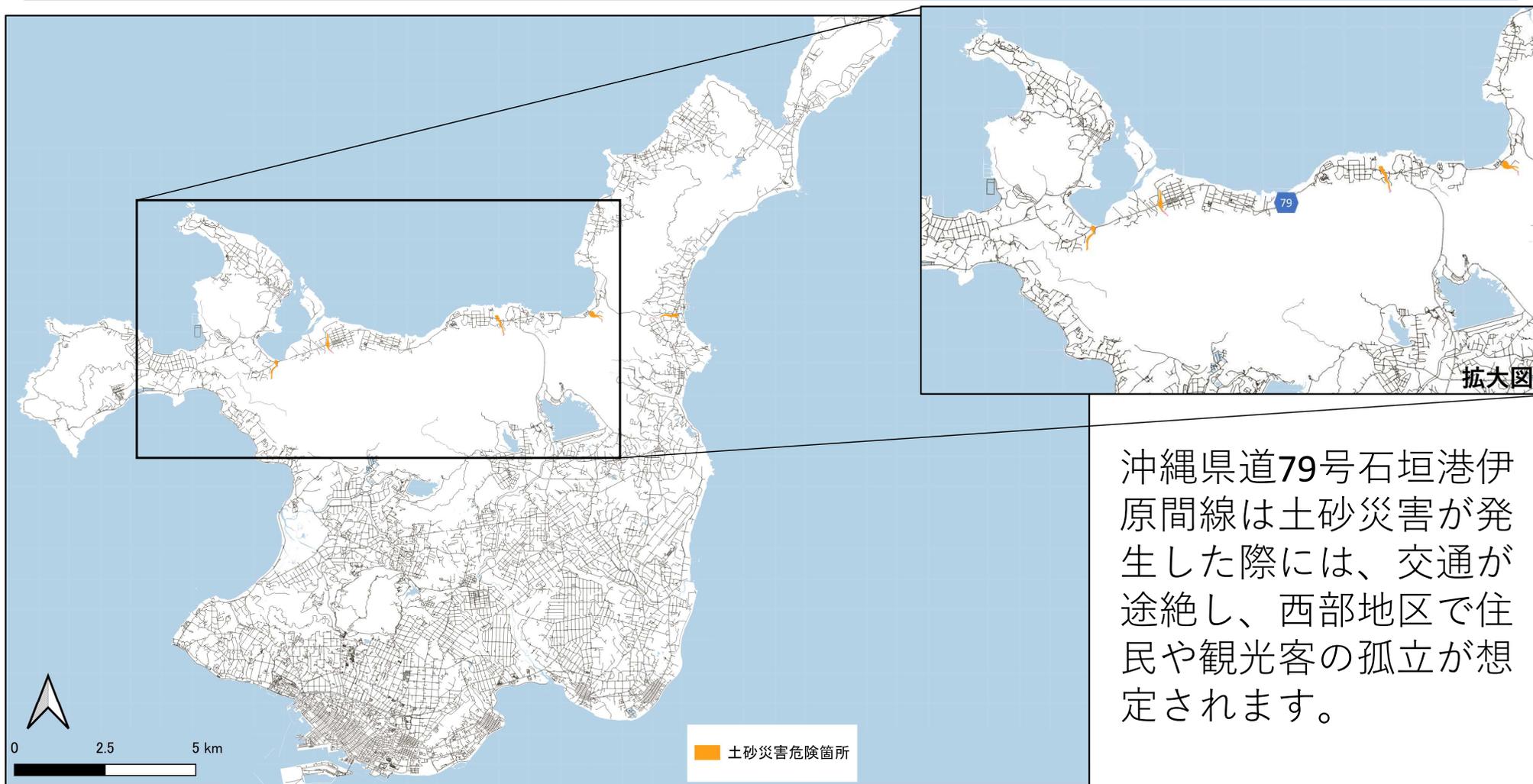
最大クラスの津波では、幹線道路が浸水して寸断され、道路網が少ない地域では、地域の孤立により観光客の避難支援等に影響が生じうる。



津波においては、東側で最大20m以上の浸水が想定されており、北部地区では明石や平久保といった地域が孤立する恐れがある。また、南ぬ島石垣空港や石垣港離島ターミナルといった、空路、海路の起点においては、浸水や施設の被害によって島外との接続に支障をきたす可能性も想定されます。

石垣市で想定される自然災害

市内には土砂災害危険箇所も存在し、道路網が少ない地域では、地域の孤立により観光客の避難支援等に影響が生じる。



沖縄県道79号石垣港伊原間線は土砂災害が発生した際には、交通が途絶し、西部地区で住民や観光客の孤立が想定されます。

地域防災計画との棲み分け(案)

災害時に市民等の生命と財産を守る視点での事務をまとめた現行の地域防災計画との関係や、市民向け・事業者向けの対応との棲み分けから、以下の考え方はどうか。

(1) 計画の位置づけ

- ・ 地域防災計画の観光客の取扱い個所についてより具体化する計画として位置づける。
- ・ 宿泊施設との連携強化を検討していく。
- ・ 想定する災害を、台風、地震・津波の甚大災害を中心に記載する。
- ・ 新型コロナウイルスについては市民保健部が作成すると想定し、一部観光に特化した内容を記載する。
- ・ 地域防災計画は令和4年度に改定予定であるため、必ずしも現行のものに合わせる必要はなく、地域防災計画が後追いで観光危機管理計画に合わせていく。

地域防災計画との棲み分け(案)

現行の地域防災計画との関係や、災害時に市民の生命と財産を守る視点との棲み分けから、市(観光文化課と防災危機管理課)では以下の方針を検討中。

(2) 計画体系

- ・災害について頻発する危機である台風災害と甚大災害である地震・津波に分けて考える。

【地震・津波災害の場合】

- ・観光客は早急に帰宅させることが、結果的に地域の負担を下げることに繋がるので、最重要課題。計画では、島中の避難先のない観光客を一度総合体育館へ集約させ、そこからバス等で空港or港へ輸送する。空港や港が使用不可の場合は、中央運動公園より自衛隊のヘリで宮古島・那覇への輸送を想定している。
- ・地震や津波発生直後の一次待避所としては、既存のホテルなどを想定。島内移動中の観光客は近くの避難所(学校等)へ避難する予定。落ち着いたその後、上記の総合体育館へ集約し、状況に応じ帰宅させる。

◎特に規定すべき事象

- 1.避難者の優先順位：確実に現場で混乱することから、確実に規定し混乱を避ける。
- 2.名簿の提出：ホテルから宿泊者名簿の提出協力を得て、石垣市内にいる被災観光客を確定する。災害発生時、メディアや外国人の場合大使館等からこの名簿を確実に求められるので、これを集められる体制の構築が必要。その後、避難所での名簿と突合させ安否不明者など確定させる。

地域防災計画との棲み分け(案)

現行の地域防災計画との関係や、災害時に市民の生命と財産を守る視点との棲み分けから、市(観光文化課と防災危機管理課)では以下の方針を検討中。

(2) 計画体系 (つづき)

【台風の場合】

- ・特に帰宅困難者の対応が求められる。多くの観光客はホテルでの延泊をするが、一部の観光客が宿泊施設をチェックアウト後、空港閉鎖にともない行き先がなくなる観光客が発生し、対応が必要。
- ・通常対応は、空きホテルへの収容が通常である。一部、金銭的に対応できないバックパッカーはキャンパーの受入など健康福祉センターを受入先としている。
- ・また、住民と観光客は収容後別々に分ける対応となっている。

◎特に規定すべき事象

- ・台風情報を宿泊施設から積極的に提供し延泊を促すことで、閉鎖される可能性のある空港にむやみに行ってしまう観光客を減らす方針を立てる。
- ・ホテル等の連絡体制を構築し、宿泊先未定の観光客をスムーズに受け入れられる連絡体制の確保、観光客への周知体制の確保が必要。
- ・ホテル等で台風発生時の各行政情報を得られるサイトなどを案内するような体制が必要。観光客は、頭では理解しているが実際の台風の脅威について知らないケースが多い。

石垣市で想定すべき観光危機(案)

県で想定する危機をベースに、石垣市地域防災計画で想定する自然災害、さらに石垣市の地域特性を踏まえ、特に観光客に大きな影響を及ぼす恐れがある以下の危機について、石垣市における観光危機として設定する。

沖縄県観光危機管理基本計画において対象とされる災害

自然災害・危機

地震、津波、台風や大雨による洪水・高潮・土砂災害・風害（竜巻を含む）等

人的災害・危機

ホテル等の大規模火災、大規模交通・鉄軌道・航空機・船舶事故、大規模停電、広範囲は通信障害、原子力災害（原子力艦等）、不発弾、武力攻撃、テロ、ハイジャック、凶悪犯罪等

健康危機

大規模食中毒、感染症、新型インフルエンザ等、有毒生物等の異常発生等

環境危機

大気汚染、海洋汚染

県外で発生した災害・危機

県外で発生した上記の災害・危機で沖縄観光に影響を与える観光危機、主要市場における急激な経済変動、主要市場発着航空便の長期にわたる運行休止・減便、他国との外交摩擦、紛争等

石垣市地域防災計画において想定する災害等

自然災害・危機

- ・地震・津波
- ・洪水・高潮・土砂災害・風害
- ・大規模火災
- ・林野火災

人為的災害・危機

- ・危険物災害
- ・不発弾等災害
- ・道路事故災害
- ・航空機事故災害
- ・海上災害

健康危機

- ・感染症

石垣市における観光危機

自然災害・危機

- ・地震・津波
- ・洪水・高潮・土砂災害・風害
- ・大規模火災
- ・林野火災

人的災害・危機

- ・危険物災害
- ・不発弾等災害
- ・道路事故災害
- ・航空機事故災害
- ・海上災害
- ・武力攻撃、テロ、ハイジャック等

健康危機

- ・感染症等

環境危機

- ・海洋汚染、大気汚染

県外・市外で発生した災害危機

県外で発生した上記の災害・危機で沖縄観光に影響を与える観光危機、主要市場における急激な経済変動、主要市場発着航空便の長期にわたる運行休止・減便、他国との外交摩擦、紛争等

緊急性、他の観光危機への基礎となると考えられるため、今年度特に皆様と議論させていただきたい内容

石垣市が想定すべき、その他観光危機の類型(案)

観光は石垣市の主要産業であり、石垣市観光基本計画の「観光サービスの質の向上」は基本政策の柱として重視している。石垣市(島)の観光サービスの質が著しく低下すること(=観光危機の発生)をどのように扱うか。

例えば、

●観光客が関係する事件・事故の増加傾向

- ・反社会的勢力関係者や、悪質な事業者等による営業行為が横行し、観光サービスの質の低下や安全対策の軽視による事故の発生
- ・反レスポンスブル・ツーリストの入域による市民生活への悪影響や事業者とのトラブル発生
- ・SNS等によるネガティブキャンペーンが展開されること



- ・地震・津波等と異なり、これらを直接原因とする極端な人的被害、全市レベルでの観光産業の停止までには至らないと考えられるが、風評被害など観光ブランドへの悪影響が考えられる。
- ・観光危機管理計画の体系の中では、「地震・津波対策編」等のような取り扱いではなく、「人為的災害・危機」の中で、**石垣市が直面する事象の数々として示すことで、社会全体に認識を促す記載**としてはどうか。

3. 観光危機管理に関連した
これまでの取組
(本計画へ要反映・整合すべき事項)

台風接近・上陸時の行動フロー

「石垣市地域防災計画」第5章第2節の「台風の接近に備えた事前対策を講じる」に基づき、台風に伴う新石垣空港待機者への対応策を検討しており、事前に関係機関との情報交換、連絡網を構築して対応策を備えることとしている。

フェーズ1 台風接近（空港閉鎖前）	<ul style="list-style-type: none"> ○石垣市観光交流協会（空港観光案内所） <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設空き状況等収集・発信 ・ 運行状況の情報等の収集・情報発信を航空会社と連携して行う ○石垣市（観光文化課） <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理課等と事前に避難体制を図る
フェーズ2 暴風警報発令・空港閉鎖	<ul style="list-style-type: none"> ○石垣市観光交流協会（空港観光案内所） <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港観光案内所の閉鎖（タクシー、バス等の運行確認含め、閉鎖のタイミングを協議） ・ 宿泊施設空き状況等の収集・発信（ホームページ、石垣市フェイスブック等） ○石垣市（観光文化課） <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港観光案内所の閉鎖確認 ・ 必要に応じた庁内待機
フェーズ3 暴風警報解除・空港再開	<ul style="list-style-type: none"> ○石垣市観光交流協会（空港観光案内所） <ul style="list-style-type: none"> ・ ターミナル会社からの連絡を受け、空港観光案内所の運営開始 ○石垣市（観光文化課） <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港観光案内所の運営開始確認及び避難場所への状況連絡

【基本スタンス】

- ・ 速やかに空港閉鎖ができるよう、空港待機者をターミナル会社等と連携して、**安全に市内へ公共交通等にて誘導**する。
- ・ 市内非居住者（観光客）は宿泊施設への誘導を基本とし、ターミナル内では閉鎖時に滞留できないことを理解頂く。

【イレギュラー時】

- ・ 宿泊施設が見つからない、所持金を持たない等の**やむを得ない理由**により宿泊先が確保できない観光客が生じた場合。
- ・ 空港観光案内所にて**避難希望者のリスト作成**（規模把握）
- ・ 観光文化課が状況の連絡を受け、防災危機管理課、健康福祉センター及び施設管理課と避難場所（総合体育館等）の調整を行う。

行政と民間事業者の協定締結

石垣市、竹富町では、それぞれ民間事業者と協定し、救援物資や帰宅困難者等の輸送に備えた覚書を交わしている。



民間事業者での取り組み

全日本空輸株式会社石垣八重山支店様では、甚大災害時の輸送に際し、新石垣空港での救援機のハンドリングについて検討している。

(1) 救援機の要請とスケジュールの確定時の段階

- ・ 救援機の運航情報を、航空会社～国～県～市町～覚書締結先～市民・避難所等へ周知

(2) 救援機の着陸から救援物資の引き渡しの段階

- ・ 救援物資を、航空会社、ゲートを通じて運送会社へ引き渡し

(3) 帰宅困難者の搭乗から救援機の離陸の段階

- ・ バス会社がゲートに帰宅困難者を降車させ、航空会社が搭乗手続き・保安検査、搭乗
- ・ 自治体関係者、空港関係者、陸海運関係者ごとにワーキングを設置し、甚大災害時輸送の役割分担や方法等の詳細を検討し、訓練による習熟・連携強化を推進

委員の皆様への依頼

委員の皆様のご所属団体において、災害時の対応計画等(観光客の安否確認、避難誘導、情報提供の要領や関係団体等との連携など)、観光危機管理に関する取組がありましたらお聞かせ下さい。

■今後の予定（再掲）

- ・ 様々な危機を想定した内容構成としていくが、まずは身近にイメージしやすい台風や地震・津波を想定した行動から素案を作成する予定。
- ・ 作成に際し、石垣市内の観光危機管理の担い手の連携を構築し、盛り込んでいきたい（呼称案として「観光危機管理体制」、「観光危機管理チーム」、「観光危機管理プラットフォーム」等を予定）。既存の取組と整合・反映しつつ、民間の観光事業者にも参画をお願いしたいが、無理なく行動できるよう、既存の取組等があれば教えていただきたい。